

【2018年7月／2018年8月】ポプラ社一般書単行本 刊行予定

※配本日・タイトル・予価等は変更の可能性があります。あらかじめ御了承ください。

7月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
実用	7月9日	15939-2	150冊執筆売れっ子ライターのもう恥をかかない文章術	神山典士	1,400	四六並	240	1960年、埼玉県生まれ。デビュー作で小学館第3回ノンフィクション大賞優秀賞を獲得。『ピアノはともだち 奇跡のピアニスト辻井伸行』で全国読書感想文コンクール課題図書選出。『週刊文春』にて『全聲の作曲家はベテランだった！ ゴーストライター懺悔美名告白』を発表。社会的な反響を呼び、同記事は第45回大宅壮一ノンフィクション賞(雑誌部門)を受賞。これまで、ゴーストライターでの書籍も含めると150冊を超える執筆数を誇る。	小学館ノンフィクション大賞で作家デビュー、2014年に、週刊文春に「佐村河内ゴーストライター事件」で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した著者による初の「書き方本」。本書は、実際に「書き方教室」で生徒が書いた例文を数多く取り上げ、それに対する著者の修正を入れた「回答」を掲げることでより実践的に「文章術」が学べる構成になっています。
文芸	7月17日	15986-6	跡を消す 特殊清掃専門会社デッドモーニング	前川ほまれ	1,500	四六上	288	1986年、宮城県生まれ。看護師として働かたわら、小説を書き始める。2017年、「跡を消す」で、第7回ポプラ社小説新人賞を受賞。	学生時代の挫折から、人とかかわりを恐れ、フリーター生活を送る浅井裕太は、ひよんなことから、飲み屋で知り合った、笹川の会社「デッドモーニング」で働くこととなる。そこは、孤立死や自殺など、わけありの死に方をした人たちの部屋を片付ける、特殊清掃の会社だった。人間が死んだときの痕跡が残された現場の様子に衝撃を受けつつも、なんとか仕事をこなすようになり―。ポプラ社小説新人賞受賞の大型新人デビュー作！
文芸	7月24日	15952-1	夏空白花	須賀しのぶ	1,700	四六上	420	1994年『惑星童話』でコバルト・ノベル大賞読者大賞を受賞しデビュー。16年『革命前夜』で第18回大藪春彦賞受賞、第37回吉川英治文学新人賞候補。『また、桜の国で』で第156回直木賞候補。『夏の祈りは』で「本の雑誌が選ぶ2017年度文庫ベストテン」1位、「2017オリジナル文庫大賞」受賞。	1945年夏、終戦を迎えた日本。自らの信じていた誇りを失い、昨日までの正義が否定される。誰もが呆然とする中、朝日新聞社に乗り込んできた男がいた。何もかもがなくなった今だからこそ、未来の日本を担う若者の心のために、高校野球大会を復活させなければいけない、と言う―。大注目の作家・須賀しのぶが高校野球100回大会の熱い熱い夏に贈る、感動の歴史超大作！

8月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	8月2日	15996-5	赤い靴	大山淳子	1,700	四六上/ 1色	408	東京都生まれ。2006年『三日月夜話』で城戸賞入選。2008年『通夜女』で函館港イルミネーション映画祭シナリオ大賞グランプリ。2011年『猫弁 死体の身代金』でTBS・講談社第3回ドラマ原作大賞を受賞しデビュー。「猫弁」シリーズは累計40万部、『あずかりやさん』は10万部、『猫は抱くもの』は沢尻エリカさん主演で6月に映画化される。	この復讐を終えるまでは、死ねない――。母を惨殺された絶望と憎悪を背負い山犬のように育った少女が、復讐の二文字を魂に刻みつけ、その後の過酷な時間を生き抜き、ついに復讐相手へとたどりつくが、そこで予想もしない出来事に翻弄されることになる――。悲劇に取り憑かれた魂の救済を描ききった、まごうことなき著者最高傑作。
文芸	8月2日	15930-9	名もなき王国	倉数茂	1,800	四六上/ 1色	480	1969年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。2005年より5年間中国で日本文学を教える。2010年、少年たちが経験するひと夏の怪しくも美しい出来事を活写した『黒揚羽の夏』で第1回ビュアフル小説賞「大賞」を受賞。2011年、同書でデビュー。本書で4作目の小説。	売れない小説家の「私」が若手作家の集まりで出会った、聡明な青年・澤田瞬。彼の伯母が、敬愛する幻想小説家・沢渡晶だと知った私は、瞬の教養な人生と、伯母が隠遁していた古い屋敷をめぐる不可思議な物語に魅了されていく。なぜ、この物語は語られるのか。その答えにたどりついたとき、見えていた世界は一変する――。深い感動が胸を打つ、究極の“愛”の物語。皆川博子氏、いとうせいこう氏、金原瑞人氏称賛、不世出の傑作が誕生。
エッセイ	8月2日	15966-8	学校に行きたくない君へ	全国不登校新聞社(編)	1,400	四六並/ 1色	256	1998年に日本で初めての不登校の情報・交流紙として「不登校新聞」を創刊。毎月2回、紙版とWEB版を発行している。「当事者の声に寄り添う」をモットーに、子どもに関わる問題やひきこもり社会のあり方について考えている。	いつ始めても、いつやめてもいい。(羽生善治)／私たちは、もっと揺らいでいい。(玄侑宗久)／やりたいことより、すぐれるものを見つける。(田口トモロヲ)など、自身が不登校の若者たちが体当たりで引き出した、人生の先輩たちの本音のインタビュー集。樹木希林・荒木飛呂彦・リリー・フランキー・西原理恵子・辻村深月・羽生善治ほか全20名のインタビューを収録、大人たちの本音が胸に響く一冊。

この新刊案内に対するお問い合わせは、ポプラ社営業局 TEL:03-3357-2212 /フリーダイヤルFAX:0120-53-6188